

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	多発性骨髄腫	DVd(皮下)
投与予定	休薬を含めて1クール 21日(9クール目以降は28日) 可能な限り	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)							
							1	4	8	11	15			
1	ダラツムマブ ・ ボルヒアルロニダーゼ アルファ	ダラツムマブとして 1800 mg/body  ボルヒアルロニダーゼ アルファとして 30,000単位/body  1回 15ml /body		mg/body  実際の 投与量 単位/body  実際の 投与量 ml/body	皮下注									
2	ボルテゾミブ  生食 (1vを生食1.2mlで溶解)	1.3 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body  実際の 投与量 ml	皮下注									
3														

**ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファは4クール目以降はDay1のみ投与  
9クール目以降は1クール28日に変更**

**ボルテゾミブは9クール目以降は中止**

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
1	ダラツムマブ・ ボルヒアルロニダーゼ アルファ		臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、本剤15mlを約3~5分かけて投与する。 他の部位への投与はデータが得られていないため行わないこと。 同一部位への反復注射は行わないこと。 皮膚の発赤、挫傷、圧痛、硬結又は癬痕がある部位には注射しないこと。 患者が痛みを感じた場合は、注射速度を減速又は注射を中断する。減速しても痛みが軽減しない場合は、残りを左右逆側の腹部に投与することができる。 本剤投与中は、同一部位に他剤を皮下投与しないこと。
2	ボルテゾミブ		皮下注射の場合、1vを生食1.2mlで溶解する。静注の場合、1vを生食3mlで溶解する。 皮下注:投与部位は左右の大腿部、腹部に交互に投与するなど注射部位を替えて行う

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
デキサメタゾン(レナデックス) (4クール目以降はday15中止) (9クール目以降はday1のみ)	20mg	分1朝食後※	day1、2、4、5、 8、9、11、12、15
アセトアミノフェン	1000mg	ダラツムマブ 投与1~3時間前	ダラツムマブ 投与日
ジフェンヒドラミン	30mg		
モンテルカスト	10mg	前日眠前と 当日朝	1クール目 day1のみ※※

※ダラツムマブ投与日のデキサメタゾンはダラツムマブ投与の1~3時間前に投与すること。

※※1クール目day1のみ前日眠前、当日朝にモンテルカスト10mgを内服。呼吸器疾患のある場合は以降も継続。

デキサメタゾンの用量・投与期間は、患者の状態に変更する場合あり。

ボルテゾミブは静注の場合あり。

備考	
----	--